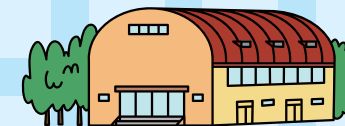


そして…今の宇都宮市の教育は？



小中一貫教育・地域学校園の推進

【目的】 小中学校教育の充実を図り、すべての児童生徒の学力保障と学校生活適応を目指します!

本市では、平成15年度から、一人ひとりにきめ細かく指導する習熟度別学習・少人数指導など、様々な取組を進めてきましたが、中学校進学時に学習や生活にうまく適応できない生徒が増えるなど、いわゆる「中1ギャップ」が明らかになってきました。

このため、義務教育9年間を一体としてとらえ、系統的な指導により子どもを育む「小中一貫教育・地域学校園」を平成24年度から全市で推進しています。

【主な取組】

4・3・2制の小中一貫教育カリキュラムによる授業を行っています!



小中学校教員の相互乗り入れ授業を実施しています!



小学校6年生の進学先中学校訪問を実施しています!



【成果】

学習面

本市のこれまでの取組と、上記のような「小中一貫教育・地域学校園」の取組を合わせて

生活面

中学校1年生において、数学の50%未満正答率の生徒の割合が減少し、定着が図られています。

児童生徒の学習や生活面の「中1ギャップ」が緩和されました。

中学校1年生において不登校数が減少しました。

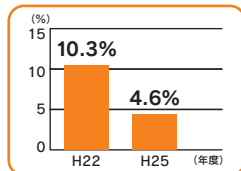
実施前(H22)

10.3%



実施後(H25)

4.6%



●本市が独自に行う「学習内容定着度調査」の中1数学における50%未満正答率の生徒の割合が10.3%から4.6%に減少しました。

その他、小学生が中学校の合唱コンクールに参加したり、中学生が小学校の運動会のボランティアを行ったりするなど、各地域学校園において創意ある取組が進められるようになりました。

実施前(H22)

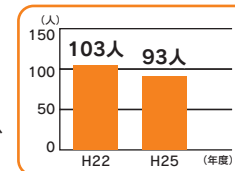
103人



実施後(H25)

93人

●中学校1年生の不登校数が103人から93人に減少しました。



今後の方向性

～「小中一貫教育・地域学校園」を持続可能な制度に～

「小中一貫教育・地域学校園」全市実施を通して、「中1ギャップ」の緩和などに少しずつ効果が見え始めています。本市では、この効果をより確かなものにするともに、義務教育9年間を通してすべての児童生徒の学力保障と学校生活適応を図るため、「小中一貫教育・地域学校園」を持続可能な制度とし、引き続き実施します。

今後、本制度を持続可能なものとするため、必要な取組は全市一斉で継続して行いますが、取組によっては地域学校園や学校が裁量を生かしながら主体的に進められるようにします。